

各地域で「とんど」行う やぐらを囲みわきあいあい



灰塚地区「大とんど」

1月上旬、町内各地で「とんど」が行われました。白い煙が立ちのぼり、パンパンと竹のはじける音があちらこちらで聞こえました。

とんどは小正月に行われる全国的な火祭りの行事です。とんどの火にあると病気をしないとか、書初めが天高くあがると字が上手になるといった言い伝えがあります。

地域の人が協力して竹を組み、燃えたあとはお餅を焼いて食べたり、酒を酌み交わしながら談笑するといった、とんどは地域住民のコミュニケーションの場にもなっています。

1月27日には、のぞみが丘で「大とんど」が行われました。灰塚地区の消防団が中心となり、地域全体の子どもからお年寄りまで楽しんでもらおうと昨年からはじめたものです。竹で組まれた大きなやぐらが燃える様は迫力満点でした。

節分祭



三良坂町観光協会

2月3日（日）、出雲大社備後分院において節分祭が開催されました。あいにくの雨となりましたが、それでも近郷各地から多くの参拝客で賑わいました。

伝統ある分院の節分祭、この行事をまちの活性化につなげようと、一昨年からはじめた三良坂町観光協会や三次広域商工会三良坂地区商業部、三良坂ビバスタンプ会が奉賛して実施されるようになりました。

今年も三次市の穴笠神楽団による奉納神楽をはじめ、おでんやぜんざい、うどん、節分に欠かせない横尾あめ、地元の特産品などのバザーがありました。また、商店街に人を呼び込もうと、大売出しや商店街を巡るスタンプラリー、お楽しみ抽選会が実施され、終日賑わいました。

初詣をはじめ多くの参拝客を集める出雲大社備後分院は地域の資源でもあります。これからもこの資源をまちの活性化に活かしていきたいものです。

